

市報

# やまぐち

昭和59年

1月15日

No. 876

### 交通事故状況

種別	区分	累計	
		12月	58年 57年
発生件数		51	545 595
死亡者		0	16 12
重傷者		6	60 57
軽傷者		60	588 659

発行 山口市役所  
 編集 企画部広報課  
 印刷 高田印刷



## 新しい年に期待 力強く書き初め

1月5日 鑄銭司公民館

輝かしい初日の出とともに、昭和59年の新しい年を迎えました。静かな雪化粧となった正月3日が過ぎ、新しい年に向かって私たちのまち「やまぐち」も活動を始めました。

鑄銭司地区では1月5日、「子ども会書き初め大会」が行われ、小学1年生から6年生まで、28人が参加しました。

亀山靖爾さん(39)の指導によ

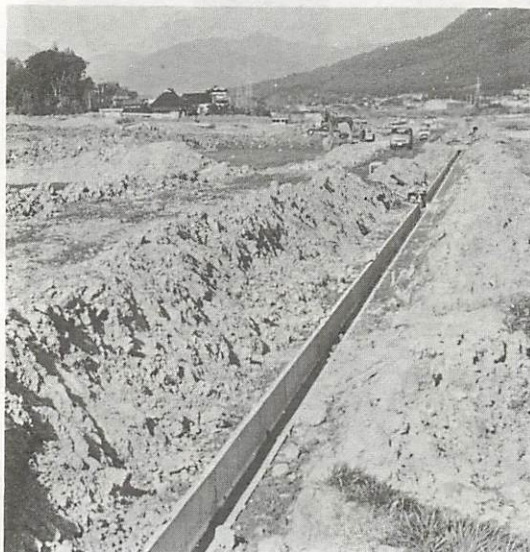
り、普段は墨汁で練習している子供たちも、すずりて墨をすることから始まり、正座し、姿勢を正して、各学年別の課題に挑戦していました。

いつもは陽気な現代っ子たちもシーンと静まり返った館内で、真剣な手つきで筆を走らせ、半紙に力強く、「ゆき」、「日の出」、「元旦の日」、「初日の出」など、30枚の作品を書き上げていました。

# 水田転作

## 一部が変わります

### 979.5ヘクタール



「土づくり村づくり伸びゆくふるさと上小鯖」を合い言葉に進められている小鯖地区のほ場整備。今年度は8.9haのほ場が整備されます

■転換畑の取扱いは、転換畑(従前は水田であったが、埋め立てなどにより、水稲の作付けが不可能な水田)での転作奨励補助金の交付期間が五カ年に限定され、その単価は永年性作物並みとなります。

■作物区分の変更 飼料用青刈ほ場は、特定作物から、一般作物

■奨励補助金の引下げ 基本額が一〇a当たり、八千円引下げられます。ただし、永年性作物は据置き、また、保全管理、土地改良通年施行補助金は、一万三千円の引下げとなります。

■転作定着化推進加算制度の新設 従来の集団転作加算制度がなく、新たに転作定着化推進加算制度ができました。

第一種加算は、従来の連担団地化加算制度を継続するものと集団ぐるみの畑転換をめざすもので、第二種加算は定着化の様ごとに、地域の実態に即して定める要件に適合するものとなっています。

従来の奨励補助金制度は、右表のように改正されました。改正された主な事項は、概略

昭和五十九年度から六十一年度までの三カ年間の水田転作の方針や面積などを定めた「水田利用再編第三期対策大綱」が、県から示されました。これによると、米の政府への事前売渡し申込限度数量は昨年と同数ですが、山口市全体の目標面積が昨年に比べ約九割の減となったほか、奨励補助金額が変わるなど仕組みの一部が改正されました。

- 水田利用再編第三期対策 長期的な視野で策定**
- ① 米の需給均衡 米の需給状況は四年連続、不作に見舞われたものの国全体からみた潜在生産量は、依然として、需要量を大幅に上回るため、引き続き、
- ② 生産構造の確立 自給力の向上が必要な麦、大豆、飼料作物への転換促進と需要の動向に対応できる生産構造を確立する。
- ③ 計画的な在庫増し 適正な米の在庫量を確保するため、計画的な在庫増しを行う。

### 米の事前売渡し限度数量 25万4千8百俵

県から示された第三期中の山口市全体の転作等目標面積は、九百七十九・五haとなっています。これは前年の九百八十九・一haに比べ、九・六ha減っています。

### 水田利用再編奨励補助金 (10アール当たり 円)

	基本額	転作定着化推進加算		
		第1種加算	第2種加算	
転作奨励補助金	永年性作物(転換畑を含む)	50,000 (50,000)	20,000	10,000
	特定作物	42,000 (50,000)	20,000	10,000
	一般作物等	27,000 (35,000)	15,000	10,000
管理転作奨励補助金	転作	27,000 (35,000)	15,000	10,000
	保全管理	22,000 (3年未満35,000 3年以上30,000)	-	-
土地改良通年施行補助金	22,000 (35,000)	-	-	

※基本額欄のカッコ内は従前の金額

### 他用途利用米 転作水田扱いに

し申込限度数量は、前年と全く同じ二十五万四千八百俵余りとなっています。

従来の奨励補助金制度は、右表のように改正されました。改正された主な事項は、概略

### 市営バス、運賃を改定 平均9.3%引き上げ

#### 実施は2月初旬の予定

山口市営バスでは二月初旬から運賃を改定する予定です。市営バス乗合運賃の改定については、十二月市議会において承認を得ましたが、運輸大臣の認可があり次第、料金改定を実施するものです。

その主な内容は、基準賃率一時当たり現行二十九円三十銭を三十二円二十銭とし、市内均一運賃百四十円を百五十円とし、最低運賃は、現行どおり百円です。

なお、定期乗車券については、改定実施前日までに買われた定期券は、券面期間中有効です。

◆運賃区界停留所の新設

小郡線「競技場前」、「児童センター前」(バス経由) 吉敷西光寺線「土井」 前、(県庁前、市民会館前、センタービル前)から「土井」および「泉町」間をご利用の場合は、市内均一運賃と同じ扱いになります。

「市役所前」停留所の運賃変更 「市役所前」停留所は「県庁前」と同じ運賃となります。したがって改定後にお買い求めの「市民会館前」までの定期券では、「市役所前」にて乗降はできなくなります。

なお、詳しいことは、交通局営業課(☎2212555)へおたずねください。

◇主な区間の新旧別運賃◇ (単位 円)

行先	起点	山		口		市民会館前		湯田温泉	
		旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
大歳		260	280	200	220	140	160		
柳井		410	450	350	390	300	330		
小郡駅前		470	520	420	460	360	400		
宮野駅前		160	180	160	180	220	240		
宮野経由井開田		380	410	380	410	430	480		
大内経由井開田		460	510	460	510	510	570		
平川小前		280	310	230	250	170	180		
西光寺		220	240	170	180	100	110		
二島小前		690	760	640	710	590	660		

# 今年の

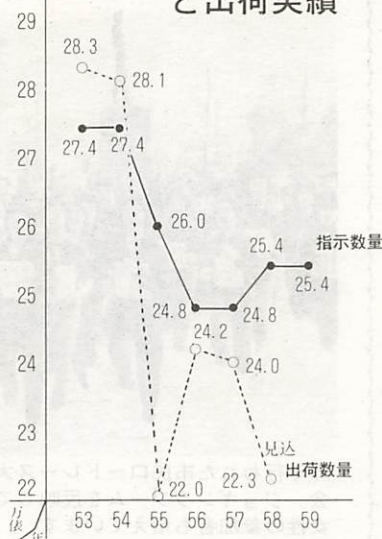
# 仕組みの

# 目標面積

扱いとなり、単価が下がります。ただし、一定の要件のもとで刈り取り、細断、サイロへの詰め込みが行われ、かつ、確認がなされたものは、特定作物扱いとなります。

■**預託期間に係る特例の廃止**  
農協への預託期間は連続六年までという特例がありました。第三期中は一律に連続三年までとなります。従って今年が四年目から六年目に当たる預託田は

## 米の出荷指示数量と出荷実績



## 建設工事等の指名競争入札

### 参加資格の受付をします

昭和五十九年度に市が発注する、建設工事等の指名競争入札の参加資格審査申請の受付を、次により行います。

#### 参加資格

○建設業法第三条の許可業者で同法第二十七条の二の経営に関する事項の審査を受けている者

○測量法第十条の三の規定する測量業者

○公共工事の前払金保証事業に関する法律第十九条第三号に規定する建設コンサルタントのうち、土木・建築に関する

○工事に係るもの（市外に主たる営業所を有する建設コンサルタントにあつては、建設コンサルタント登録規定第二条の規定により登録を受けた者）

○地質調査業者登録規程第二条の規定により登録を受けた者

○地質調査業者登録規程第二条の規定により登録を受けた者

転作物を植えていただくか、または、圃場を変えていただくこととなります。

■**他用途利用米の導入** みそ、せんべいなどの加工原材料用米を他用途利用米として、転作物等目標面積の約一割に相当する面積を生産する計画です。他用途利用米の生産・出荷を希望される農家は、出荷希望数量を転作物等実施計画書にご記入ください。

市では、該当農家の反収を考慮して転作物等実施面積に算入します。価格は六〇キ当たり、一万円前後となります。

## 国鉄山口線の無人駅等

### 2年延期へ

国鉄山口線のCTC装置導入に伴う無人駅等、営業体制の変更計画については、沿線各市町とともに行った陳情に対し、

○**補償関係** コンサルタント業務を営む者（不動産の鑑定評価に関する法律第二十四条に規定する登録、建築士法第二十三条第一項に規定する登録、土地家屋調査士法第六条に規定する登録等営業に関する法律上の資格が必要とされる業務に係る場合）にあつては、当該資格を有する者

○**受付期間** 二月一日から二十九日まで

○**受付場所** 市土木課（三階）。ただし、郵送も受け付けます。

○**申請の書式** 建設省統一様式による。

### 転作への対応

#### 質の高い作物で

県では、新「七、三、〇」運動の推進を提唱しています。

この七、三、〇とは、麦、大豆など重点作物の転作割合を七〇％（市の現況は六〇％）に、団地化転作率を三〇％（同九％）に、保土管理水田を〇％（同七％）にしようとするものです。転作に当たっては、集落内の面積調整など、より質の高い作物での対応をお願いします。

## 国民年金の手続きを

### お忘れなく

#### 20歳の誕生日は国民年金の加入日

現在では、二十歳になりましたら、厚生年金や共済組合などの公的年金に加入している人と、昼間部の学生、および配偶者が他の公的年金に加入している人以外は、だれもが国民年金に必ず加入することになっています。

このうち、公的年金に加入している人の配偶者と、昼間部の学生については、希望すれば加入することができます。

国民年金は、老後と万一の不幸な事故などに備えて、国がいろいろな給付を行う制度です。そのために若い時から掛金をかけ、準備をしておくことが必要です。

二十歳の誕生日には、国民年金に加入の届けを市保険年



成人の日

金課（池山町二一）または、各出張所で行いましょう。

#### 老齢年金

#### 受給の届けを

大正八年生まれの人で、国民年金に加入し、保険料を納めた人（免除も含む）は、今年の誕生日がきたら六十五歳になり、老齢年金が受けられますので、保険年金課または各出張所で年金を受給する手続きをしてください。



#### 私たちのまち山口

### 宮野中の生徒会活動

市では、毎週日曜午前十一時五十分から五十分、TBSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。

一月二十二日から二月十九日までの毎日は、宮野中

学校の「豊かな心で育つ宮野中」をスローガンに展開されるクラブ活動や学級グループ活動、生徒会活動などの模様を五回にわたり、テレビをとおして紹介していきます。

今春、進学される方

国の進学ローンがあります

今年も進学時期が近づきました。国民金融公庫(政府金融機関)では、進学に必要な資金の融資を行っています。

進学資金を必要とされる方は、気軽にご相談ください。

- 融資額 1進学者あたり50万円以内
- 利息 年8.1%
- 返済期間 大学4年・高校3年以内
- 返済方法 毎月元利割賦返済
- 取扱期間 4月まで(合格発表前でも予約ができます)
- 問い合わせ 国民金融公庫山口支店(中央五丁目2-47☎22-3660)へ

広島身体障害者職業訓練校 訓練生を募集します

- 募集科目・人員 電子機器科・20人、機械組立て科・10人、服飾科・30人、軽印刷科・20人、機械製図科・15人、表具科・15人、義肢装具科・20人、事務科・30人
- 受付期間 3月21日まで
- 訓練期間 1年(義肢装具科は2年)
- 問い合わせ 国立広島身体障害者職業訓練校(〒734 広島市南区宇品東4丁目1-23☎082-254-1766)または山口公共職業安定所(神田町1-75☎22-0043)へ

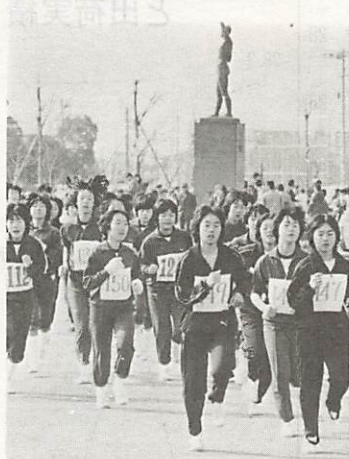
山口大学工業短期大学部学生募集

- 募集人員 機械工学科40人、工業化学科40人、電気工学科40人、土木工学科40人、情報処理工学科40人
- 受験資格 高等学校を卒業した者(昭和59年3月卒業見込みの者を含む)および高等学校を卒業した者の同等以上の学力があると認められる者
- 出願期間 3月1日～3月14日(郵送の場合3月14日まで必着)
- 試験場 山口大学工業短期大学部
- 小論文・面接試験日 3月18日
- 問い合わせ 同大学部学務係(〒755 宇部市常盤台2557☎0836-31-5105)へ

海外移住研修所第44期研修生募集

- 場所 海外移住研修所(群馬県)
- 期間 4月4日～昭和60年3月22日(所内研修6ヵ月、所外研修6ヵ月)
- 募集人員 約40人(全国募集)
- 資格 「南米」に農業移住を希望する18歳以上30歳程度までの農業青年
- 申込期限 2月25日
- 問い合わせ 国際協力事業団中国支部(〒730 広島市中区中町7番32号日本生命広島ビル内☎082-247-2851)へ

お知らせ



昨年行われた市民ロードレース大会。ジョギングブームを反映して女性の参加者も増えています

第二十二回市民ロードレース大会を次により開催します。ふるってご参加ください。

■日時 二月十一日(土)建国記念の日 受付午前八時三十分から九時まで(時間厳守) 午前十時三十分から順次スタート(小雨決行)

■場所 維新公園陸上競技場で開会式(午前九時三十分)

■種目 一般(五歳、十歳)、

壮年男子三〇・四〇・五〇歳代(三歳)、女子(三歳)、中学生(五歳)、小学生四・五・六年(二歳)

■コース 小学生は、陸上競技場外周。他は国道九号バイパス折返し

■対象 山口市民

■申し込み 二月三日までに、氏名・年齢・住所(電話番号)、参加種目、勤務先または学校名を明記して、市教育委員会体育課(亀山町二一☎22-4111)へ。大会当日の申し込みはできません。

2月11日 市民ロードレース大会 維新百年記念公園で開催

不燃物の収集日

出張所地区

- 2月 1日嘉川、2日陶・鑄銭司、3日佐山、6日名田島・秋穂二島、9日大内、14日平川、16日小鯖、17日吉敷、21日仁保、23日宮野、28日大蔵

アーク溶接技術検定準備講習会

- 日時 2月14日・16日・18日・21日・23日・25日・28日・3月1日・2日午後1時～5時(2月18日・25日は午前9時～午後4時)
- 場所 山口技能開発センター
- 内容 学科-溶接の一般知識、溶接施工法・関係法令 実技-基本練習(JIS基本級)
- 費用 受講料 3,800円、検定料 6,200円
- 定員 10人(定員になり次第締め切ります)
- 申し込み 2月1日までに、山口技能開発センター(大字矢原☎22-1948)へ

「山口県潮汐表」おわけします

山口測候所では、(財)日本気象協会下関支部発行(下関地方気象台監修)の『昭和59年山口県潮汐表』を希望者に実費で配布しています。代金は一冊320円で、郵便料は70円です。希望者は、山口測候所(周布町2-1☎22-5207)へ

59年度ガールスカウトブラウニー団員募集

- 対象者 59年度の小学校一年生
- 募集人員 4団(大殿・白石・宮野・大内地区)、33団(湯田・平川・大蔵・吉敷地区) いずれも若干人
- 申し込み 1月31日までに、世話人の小沢登米子さん(☎22-0593-4団)または木下淑子さん(☎22-3773-33団)へ

第五回山口市川柳大会

- 日時 二月二十六日(日)午前十時三十分～午後二時三十分
- 場所 中央公民館視聴覚室(二階)
- 参加資格 市内在住または、在勤者(投句は受け付けません)
- 課題 「便り」「風」「駅」

「地図」「向く」「読む」「言う」(各題三句吐、席題なし)

- 参加料 千円(軽食を含む)
- 主催 山口文化協会、山口川柳吟社、陶八雲川柳会
- 問い合わせ 田辺千坊子さん(大内御堀二八九一六☎22-7480)へ

二〇番の正しい活用

一〇番は、「事件や事故が発生した。事件や事故が盗難や暴力の被害に遭った。」など

福祉センター工作教室 受講生を募集します

- 日時 一月二十一日(土)午後二時～四時
- 場所 市福祉センター内(下野小路)児童館集会所
- 対象者・募集人員 小学校一年生～三年生、四十人
- 会費 五十円
- 持参品 クレパス、ハサミ、セロテープ、定規
- 申し込み 一月二十日までに市福祉センター内児童館(☎22-7121)へ

1月22日 山口ふれあい広場 パークロードで朝市

生産者と消費者とのふれあいと特産品の紹介などを目的として、次により山口ふれあい広場日曜朝市(毎月第四日曜日開催)を行います。

第二回目のテーマは、ふるさとの味です。

■日時 一月二十二日(日)午前八時から

■場所 県立美術館前のパークロード

■駐車場 市役所前庭を開放

■出店 出店希望申し込みは、開催日の五日前まで、出店料は二コマ百円。詳しくは、市商工観光課(☎22-4111)へ

■保育園入園希望者 申請書を1月25日から3日間受け付けます

四月から保育園に入園を希望する人の申請書の受け付けを、一月二十五日から二十七日までの三日間、午前九時から午後四時まで市役所第一会議室(三階)で行います。

なお、南部地区の各保育園も、この期間中に各園で受け付けます。

詳しくは、市福祉課(☎22-4111)へ